北九州市立足原小学校 学校通信 第10号

# あしはら

令和5年 | 0月 | 9日 (木)発行 校長 辻 井 美 恵 北九州市小倉北区足原二丁目8番 | 号 TEL: (093)92 | -3206

<学校教育目標> 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実 確かな学力の向上を図る教育 <目指す子ども像> いきいき にこにこ もりもり

【自分から学ぶ子ども・・いきいき】【思いやりのある子ども・・にこにこ】【たくましい子ども・・もりもり】

## 令和5年度 運動会の練習開始が始まりました

### 「運動会」を通して育てたい力・育ってほしい力とは・・・

10月29日(日)に「令和5年度 足原小学校運動会」が行われます。8時30分開会式、児童下校完了は12時20分の予定です。(昼食は必要ありません。) どの学年も、29日に向けて、ダンス等を一生懸命に練習しています。

# 【 I 】 勝つために全力を尽くす全力でがんばる力、団結力・連帯感、体力の向上、フェアプレーの精神、勝敗への正しい態度等

運動会は、学習指導要領では「集団で勝敗を競う体育的行事」となっていますので、 勝敗も大切にしてほしいと思います。東京オリンピックや今年のアジア大会、ラグビー のワールドカップで、日本中が感動したのは、勝利を目指してあきらめず全力で戦う選 手たちの姿に対してでしょう。運動会でも、絶対に頑張るという強い気持ちが必要です。 その気持ちがあるからこそ、全力で走り、力を出し切ることができます。たとえ1位に なれなくても、順位を一つでも上げれば、自分の色に点数が加算され、勝利に貢献でき ます。そのがんばりを称賛したいものです。そして、絶対に落としてはならない指導が あります。勝敗にだけこだわると、不正行為や優越感・劣等感を助長することになりま す。したがって、以下の指導を行います。

1つめは、フェアプレーで戦うということです。反則をして勝っても、ほんとの勝ちではないということです。正々堂々と戦って勝つのがほんとの勝ちであるということを指導していきます。

2つめは、勝敗の結果に対する正しい態度を教えるということです。勝敗の結果に

対する正しい態度を教えておかないと、往々にして「ざまあ見ろ」などと負けた方をさげすんだり、逆に、勝った方に対して「勝ったからって調子に乗るな」などと悪態を吐く子がでてきたりします。ラグビーでは、敵味方というサイドで戦っても試合が終わればノーサイドになって、お互いの健闘を讃え合います。スポーツの素晴らしい一面です。そんなスポーツの例なども話し(特に高学年は理解できると思います)、赤組も白組も、勝利を目指して一生懸命に頑張ったことは同じです。「勝って驕らず、負けて恥じず」という言葉のように、お互いの健闘を讃え合う気持ちが大切であることを教えていきます。

### 【川】 練習を通して集団行動を徹底させる集団行動力、規律ある態度、協力、 集中力等

運動会は、集団行動を身に付けるまたとない機会ととらえ指導を徹底していきます。 (1)練習中に身に付けさせたい集団行動について

練習が効率よく進められるための集団行動をについて、以下の4つを子どもたちが 意識できるといいと考えています。短時間で効率的に練習を進めることは、熱中症の 予防にもなります。

① 集合時刻を守る

- ② 移動は(校舎外)すばやく動く
- ③ 先生が話す時は、先生の方を向いて聴く ④ 「起立」「礼」をきちんとする

#### 【 ||| 】 運動会を運営していくことに誇いをもたせる責任感、協力、自尊感情等

6年生は、競技をしながら運動会の運営に関わります。これは、なかなか大変なことですが、同時に、自覚をうながすチャンスでもあります。大勢の人たちの前で、自分たちが係の活動を担い、運動会を運営していくのです。係が動かなければ運動会は成功しません。そのことに責任と誇りをもつように指導していきたいと思います。運動会終了後も、勝敗を越えて、係の仕事の責任を果たしたことについて、ご家庭でも大いに褒めてください。この運動会を通して自覚がさらに高まれば、素晴らしいと思います。

**運動会を通して、子どもたちがさらに一回り成長することを大いに期待しています。**